

# 広報ひがしの

No173

令和3年

2021.6.1

人口1656人

(男)835人

(女)821人

世帯数

626世帯

(R3.5.1現在)

## 東野こども園入園式（4月7日）



## 東野小学校入学式（4月8日）



十六名の新しい友達ができました  
東野こども園六名、東野小学校

# 歴史で地域を強くする

国内では現在、都会に人口が集まって、地方を中心的に少子高齢化が進んでいます。地域社会が徐々に元気がなくなり、課題や問題に住民たちが考え方で対応していく力が弱くなっています。さらには、愛着や誇りなど、ふるさとに対する意識が薄くなっていくことが心配されています。

このような中で、今、どのようなことを大切にしながら地域づくりにとりくむべきなのか。のために、いかに地域資源を見つけ出し、活用していくべきなのか。真剣に考えなくてはならない時期に来ています。

この「広報ひがしの」の本紙面は、地域の歴史に活性化の手がかりを求め、情報発信をするものです。

歴史の一コマを掘り起こすことで、祖先の地域に対する思いに触れ、地域の未来を探る手掛かりにしていきたい。

そんなことを考えて、記事の編集をしていきたいと思っています。

## 「ふるさと東野」の勉強会が始まります

この委員会は、子どもも大人も、ともに学び、学んだことを生かしあえるまちを田口が集まって、地方を中心的に少子高齢化が進んでいます。地域社会が徐々に元気がなくなり、課題や問題に住民たちが考え方で対応していく力が弱くなっています。さらには、愛着や誇りなど、ふるさとに対する意識が薄くなっていくことが心配されています。

四月一十一日、有識者と各会からの代表者を委員とする十三人のメンバーが集まって初回の委員会が開催されました。互選により伊藤顯氏が委員長に、足立伊公子氏が副委員長に、丸山文憲氏が監査に選出され、活動がスタートしました。

コロナ禍で先が見通せない状況ではあります、年間計画を話し合いました。

伝統あるこの東野を学ぶには、やはり歴史を掘り起こすことを通して先人の故郷への思いに触れることが大切であると考えました。

勉強会としては、十一月と一月に「東野アーカイブス」を教材として、東野の昔を勉強し、九月には東野の史跡巡りを計画しました。

勉強会を計画、準備するために四回の定例委員会を実施することも決めました。

計画通り実施できることを願っています。



## 遺跡が語る大昔の「東野」

### 市民二学東野委員会

### 中の島遺跡（なかのしまいせき）

飯沼川と阿木川にはさまれたところで、約二十アールぐらいの土地に、縄文土器のかけらが出土します。他にもやり、石おの、石のぼうなども見つけられています。

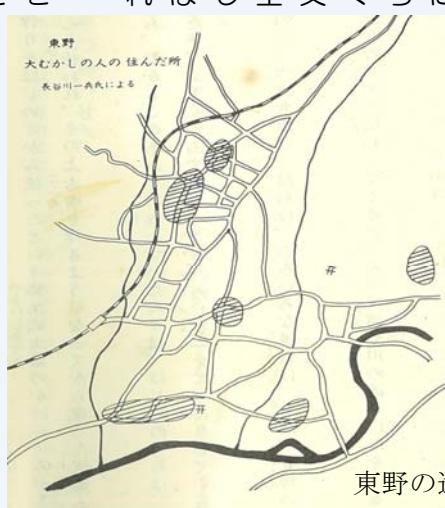
さらに、米作りを

始めてから使ったと

いう弥生式土器のかけら、みがきのかかった石おの、石の劍も出土し、その上、古墳を作るようになってから使った土器も発見されました。これらのことから昔この辺りに住んでいた人たちは、阿木川や飯沼川で魚を獲ったり、近くの山でウサギやイノシシなどの獣を獲つたりして暮らしていました。これらの獲物の肉は食用に、骨はいろいろな道具に、皮は着物に利用していました。

やがて米作りの技術が伝わっていったが、人々は沼や川の近くに米を作るようになりました。しかし、そのころの人々は、今のような道具も持っていないし、肥料も知りません。ですから、米を作るには、水のあるところでよく肥えた土地を探さなければなりません。ちょうどその条件にあつたのが中の島だったのです。

また、右の図にあるように、東野各地に遺跡が点在しています。それらの土地でも、洪水にあつたり、鳥獸に作物を食べられたりしながら、熱心に米作りに励んでいたことが想像できます。（「私たちの郷土・東野の昔と今」より）



# 東野は大昔から東西の人と文化の交流点

## 大野吾遺跡（おおわいせき）

大野吾遺跡は、平成二年十一月に完成した阿木川ダムにより、その湖底に沈んだ遺跡です。ダムの工事に先立ち昭和五十六年に恵那市教育委員会によって発掘調査され、縄文時代や古墳時代の住居跡が検出されるなど規模の大きな複合遺跡であることが判明しました。恵那市で古墳時代の住居跡がまとまって出土したのはこの遺跡がはじめてで、当時の歴史を解明する上で大きな成果をあげました。

縄文時代では、住居跡二軒と集石炉（焼石を利用して食物を蒸し焼きにする調理施設）二基が検出されました。いずれも後期に属するもので、集石炉はこの地方では唯一の検出例です。このほかに煮沸用の土器を転用した晚期のカメ棺や早期～晚期の土器が豊富に出土しています。

古墳時代では、六世紀初頭から中ごろの住居跡七軒が検出されました。住居跡は、立て替えながら六十年ほど続いた集落であることが明らかになります。一方、近畿地方で生産されたと推定される須恵器も器が出土しており、東日本の影響が認められます。一方、近畿地方で生産されたと推定される須恵器も多く出土しております。東野の耕地整理の折に縄文の遺跡が発見されました。発見されたところの地名にちなんで染戸遺跡と呼ばれています。平成元年五月から八月にかけて発掘調査が行われました。その結果、いくつかの住居跡（竪穴住居）が発見されました。



大野吾資料館

## 染戸遺跡（しみどいせき）

東野の耕地整理の折に縄文の遺跡が発見されました。発見されたところの地名にちなんで染戸遺跡と呼ばれています。平成元年五月から八月にかけて発掘調査が行われました。その結果、いくつかの住居跡（竪穴住居）が発見されました。



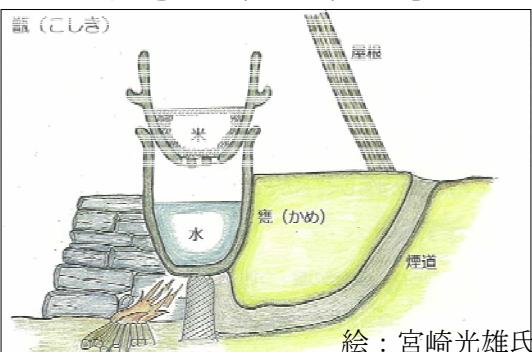
染戸遺跡

## 住居

古墳時代の竪穴住居は、住居の地面の形が丸から四角に変わります。また、弥生時代には家の中心にあった炉が、古墳時代には家の端のほうに造られ、カメなどをかけたためのカマドというものをつくりました。カマドは住居の壁に彫り込んで造られ、粘土や赤土で焚口と煙道を作り、煙を家の外に出しました。

### 米の調理方法

古墳時代の人々の暮らし



このことは、当地で東の文化と西の文化が同時に共存していたことを意味していく、当地が東西文化の交流点であったことを表しています。私たちの郷土の文化は、決して単独で発展したのではなく、太古の縄文の昔より驚くほど広範囲の人々と交流して発展してきたことがわかります。

（ふねさんと学習読本より）

では、土師器や須恵器が当時使われていたそこのままの状態でまとまって見つかり、当時の生活の様子を知る貴重な資料を得ることができます。

西両方の影響を強く受けた独自の文化をもつていたと推定されます。特に、一号住居跡では、土師器や須恵器が當時使われていたそこのままの状態でまとまって見つかり、当時の生活の様子を知る貴重な資料を得ることができます。

西両方の影響を強く受けた独自の文化をもつていたと推定されます。特に、一号住居跡では、土師器や須恵器が當時使われていたそこのままの状態でまとまって見つかり、当時の生活の様子を知る貴重な資料を得ることができます。

# 令和3年度 東野地区各種団体役員名簿 1年間、よろしくお願ひいたします

自治会名	自治会長名	青少年育成推進員	体育推進員	交通安全協会委員(男性)	交通安全協会委員(女性)	福祉協力員	女性代表	環境委員
小野川	光岡 則昌	光岡 則昌	光岡 則昌	光岡 秀樹	光岡 直子 (小野川)	光岡 則昌	光岡 和美	光岡 則昌
上浜井場	三浦 泰子	三浦 泰子	三浦 泰子	伊藤 全孝		三浦 泰子	篠原佳代子	三浦 泰子
下浜井場	田口 佳子	田口 佳子	籠橋 茂昭	籠橋 茂昭		西尾 泰彦	渡辺 峰子	田口 佳子
中辻	兼松 好道	兼松 好道	若尾 亮聰	足立 一夫	伊藤 節子 (下辻)	兼松 好道	兼松まゆみ	兼松 好道
下辻	和田 義樹	和田 義樹	依馬 博文	堀江 佳徳		和田 義樹	藤井 雅子	和田 義樹
白坂	佐々 豪治	佐々 豪治	佐伯 藤枝	千藤 昭彦	山内 志保(北山)	西尾 美子	佐々 昌子	佐々 豪治
北万場	伊藤 優永	伊藤 優永	太田 正昭	伊藤 隆司	三宅 智子 (北万場)	伊藤 優永	伊藤 友紀	伊藤 優永
南万場	土方 利克	土方 利克	夏目 克彦	夏目 克彦		土方 利克	西尾 栄子	土方 利克
井の下	古山 栄一	古山 栄一	光岡 雅康	山口 貴弘	足立 純子 (小麦田)	光岡香代子	伊藤 日美	古山 栄一
小麦田	長谷川勝美	足立 聰史	伊藤 善章	足立 勝彦		田口 理恵	依馬 秋江	長谷川勝美
北中切	足立 尋和	可知真優子	足立 幸夫	大島 浩和	長谷川清香 (南中切)	足立 尋和	伊藤 歩	足立 尋和
南中切	内木 義則	内木 義則	長谷川雅一	伊藤 銳次		内木 義則	内木 律子	足立 和義
向島	鈴木 義文	鈴木 義文	市川 晴久	市川 隆弘	岡本 祥子 (下沢)	渡辺 成道	市川 美貴	鈴木 義文
下沢	西尾 猛	西尾 猛	千藤 基恭	岡本 和久		西尾 猛	西尾 晶子	岡本 和久
中島	渡辺 昭人	渡辺 昭人	西尾 真二	渡辺 秀幸		遠藤 亜里	西尾喜志子	渡辺 昭人
南天王前	千藤 彰将	千藤 彰将	千藤 稔	伊藤 宮夫	渡辺美千代 (北天王前)	千藤 彰将	千藤 佳子	千藤 彰将
北天王前	伊藤 仁	伊藤 通章	伊藤 和成	渡辺 静男		伊藤 仁	伊藤 浩美	伊藤 仁
上染戸	古山 良人	古山 良人	千藤 智秀	渡辺 正寿	古山 雅惠 (上染戸)	古山 良人	篠原 順子	古山 良人
下染戸	渡辺 泰成	渡辺 泰成	古山 敦啓	千藤 進		渡辺 泰成	古山千鶴子	渡辺 泰成
南大門	千藤 岳明	千藤 岳明	西尾 文昭	小林 正直		千藤 岳明	千藤佐保子	千藤 岳明
上大門	鈴木 保	鈴木 保	市川 雅久	足立 明夫	竹之越都茂美 (上大門)	丸山 年道	丸山 智子	鈴木 保
下大門	鈴木 英明	鈴木 英明	鈴木 幸盛	林 源幸		桐山 智子	林 聰子	鈴木 英明
宮の前	千藤 政夫	千藤 政夫	足立 元紀	渡辺 卓夫	山内 志保 (北山)	小泉恵美子	小泉恵美子	千藤 政夫
北山	丸山 英治	丸山 英治	田口 忠	岡田 敏也		篠原 正幸	丸山 照美	丸山 英治

○ 第六東雲会長 長谷川克巳	● 壮健東雲連合会 伊藤全孝	● 東野生産森林組合 伊藤全孝	● 東野自治連合会 伊藤全孝	○ 会長：岡本光美	○ 副会長：西尾泰彦・伊藤岳明	○ 会長：岡本光美	○ 副会長：西尾泰彦・伊藤岳明	○ 会長：岡本光美
○ 第五東雲会長 岡本光美	○ 副会長 岡本光美	○ 副組合長・三宅一彰	○ 副組合長・伊藤和平 鈴木義文	○ 会長：岡本光美	○ 副会長：西尾泰彦・渡辺英勝	○ 会長：岡本光美	○ 副会長：西尾泰彦・渡辺英勝	○ 会長：岡本光美
○ 第四東雲会長 長谷川千行	○ 副会長 吉村義夫・伊藤節子	○ 監事・会計：長谷川克巳	○ 監事・会計：長谷川克巳	○ 会長：岡本光美	○ 副会長・西尾克彦	○ 会長：岡本光美	○ 副会長・西尾克彦	○ 会長：岡本光美
○ 第三東雲会長 長谷川誠志	○ 婦人部長 長谷川幸子	○ 書記・会計：吉村義夫・伊藤節子	○ 書記・会計：吉村義夫・伊藤節子	○ 会長：岡本光美	○ 副会長・千藤智秀・林基憲	○ 会長：岡本光美	○ 副会長・千藤智秀・林基憲	○ 会長：岡本光美
○ 第一東雲会長 伊藤全孝	○ 副会長 岡本光美	○ 副理事：光岡秀樹・渡辺英勝	○ 副理事：光岡秀樹・渡辺英勝	○ 会長：岡本光美	○ 副会長・千藤秀幸・西尾克彦	○ 会長：岡本光美	○ 副会長・千藤秀幸・西尾克彦	○ 会長：岡本光美

（以上敬称略）	○ ○ 交通 安全 协会 東野 支部	● 恵那 東 中 第9 支部	● こども 園育 友会	● 東野 体育 协会	● 小学校 PTA	● 東野 青少年 育成 委员会	● 消防 团第3分团	● 東野 民生 児童 委员会
	○ 副支部長：渡辺卓夫	○ 副支部長：丸山英治	○ 会長：岡本光美	○ 会長：岡本光美	○ 会長：岡本光美	○ 会長：岡本光美	○ 分团长：千藤基恭	○ 松本広英・小泉恵美子
	○ 副支部長：光岡秀樹	○ 副支部長：光岡祐輔	○ 副会長：土方紘一郎	○ 副会長：土方紘一郎	○ 副会長：土方紘一郎	○ 副会長：土方紘一郎	○ 副团长：水野裕介	○ 杉本成美・千藤佳子
	○ 副支部長：岡本和久	○ 副支部長：岡本和久	○ 子ども 会育成会 代表：伊藤浩	○ 市青少年 育成 推進員 篠原佳代子・三宅勝義	○ 松本広英・小泉恵美子			



# コロナ禍でのそれぞれのスタート

## 青少年育成会議

青少年育成会議の主要な行事の「ほたる祭り」が新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。また、当面の会議やイベントも今のところ自粛する予定です。

## 東野生産森林組合総会

5月1日、開発振興会の総会と同じく、時間制限のある中で、効率的な提案がなされ、出席者の協力も得て、短時間で終えることができました。



## 東野開発振興会総会

4月27日、東野コミュニティセンターにて令和3年度の東野開発振興会の総会が40名余りの出席者を得て開催されました。新型コロナウイルス感染防止のため午後8時までと制限する中で、活発な意見交換がなされました。



## 東雲連合会総会

東雲連合会の令和3年度の総会が四月十八日（日）に東野コミュニティーセンターにおいて行われました。コロナ禍で密をさけるため支部役員の出席のみで開催され、各議案が承認されました。各会員には自治会内に回覧として総会資料の報告がありました。

新型コロナウイルスの感染状況でまだどうなるか分かりませんが、事業計画としては例年通り花壇の植栽を中心に各種イベントへの参加協力が計画されています。

春の交通安全週間が四月六日から四月十五日まで実施されました。年度のスタートにあたつたり組みです。初日の四月六日に東野の交差点で人波作戦が行われ交通安全協会はじめ各種団体の方々四十名ほどが参加されました。

小学校の始業式が四月七日でしたので一日遅いで子どもたちの登校の姿がみれませんでしたが、今年度も無事故で登下校してほしいと願っています。



## 令和3年度 東野地域安全パトロール実施日

団体名	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
東野開発振興会	9・16				16	27			26	3			
自治連合会（上）	23					3			10				
自治連合会（下）	30					10			17				
小学校PTA		7				17				14			
中学校PTA		14				24				21			
こども園育友会		21				1			28				
交通安全協会東野支部		28				8				4			
東野生産森林組合			4			15				18			
東雲連合会			11			22				25			
青少年育成会議			18			29					4		
民生児童委員			25				5					11	
公務員OB会				2			12					18	
消防団				9		19							

## 令和3年度も東野地域安全パトロールを実施します

東野では平成十九年十一月二日に安全パトロールを実施して以来十四年間、地域安全パトロールを実施しています。パトロールを実施していただくのは、左の表のように、自治連合会、開発振興会、交通安全協会のような地域の諸機関、諸団体の皆さんです。下の写真の東野生産森林組合の軽ワゴン車を使いパトロールをしていきます。メッセージを放送しながら小学生の下校时刻に合わせ、町内を細かく巡回しています。今年度もよろしくお願いします。



# 慰靈祭・愛林碑祭典・魚供養碑祭典

## 地域の話題

### 東野戦没者慰靈祭

四月三日、満開を迎えた慰靈塔の桜の木の下で、厳かに慰靈祭が行われました。開会の言葉のあと黙祷をささげられました。続いて、岡本光美会長の式辞のあと参加者全員で献花をし、祖国のために戦った英靈に哀悼の意を示しました。コロナ禍で、昨年同様人数を絞っての開催でした。



### 愛林碑祭典

例年四月の初めに行われる愛林碑の祭典が今年も四月三日に実施されました。

コロナ禍の中でするので、昨年と同様に来賓の方々の出席はなく、できるだけ少人数で密を避けて行われ、東野の美林に感謝をしました。



### 魚供養碑

皆さん、存じでしようか。阿木川ダムの下に魚を供養する碑が建っています。毎年五月五日には、東釣会の会員が集まり、掃除をしてから宮司さんに祝詞をあげていただき、東野の河川で獲れた魚や山野で獲れた鳥獣の御靈を鎮めています。

東釣会とは、もともと鮎釣りの仲間十六名で発足した会で、時期になると集まって鮎かけを楽しんでいました。今から三十三年前、阿木川ダムができるのを機に、殺生してきた魚の靈を鎮めるために現在地に魚の形をした石を祀り、魚供養碑としました。ふるさと東野の魚や鳥獣を大切にする会員の心が伝わってきます。

東釣会は、当初は十六名で発足しましたが、月日が経ち会員の高齢化も進み、現在では十一名が供養祭に参加しているのです。代表者は、天王前の伊藤宮夫さんです。



### 東野地域安全パトロール（6・7月）

金曜日16:00～17:00

6 月	
4日	東野生産森林組合
11日	東雲連合会
18日	青少年育成会議
25日	民生児童委員
7 月	
2日	公務員OB会
9日	消防団
16日	開発振興会

見守り、よろしくお願いします。

### 文芸

#### 花無山句会自選句

令和三年四月二十三日

- うひひかや弁財天へ赤き橋
- 花冷えにためらふ散歩老いの足
- 今に佳し山柔らかく風光る
- 今日明日が見頃の一人静かな

千藤  
猛司

市川  
芳子

内木伊都子

### 高齢者叙勲の紹介 おめでとうございます

下浜井場自治会の吉村茂夫さんが四月一日付、高齢者叙勲で瑞宝双光章を受賞されました。吉村さんは教育一筋で、中津川市立南小学校長を最後に退職され教育功労者として叙勲されました。

退職後も公民館活動等に積極的にかかわり地域の文化の向上に貢献されました。

# コミセン利用団体の紹介

令和3年度の前期市民講座が5月よりスタートしました。東野コミュニティセンターでは、前号で紹介したように9つの講座すべて開講することができました。

また、市民講座以外でも一般のサークルや趣味の団体の方々に利用されています。例えば花無山句会では、月2回定例会を開催し、季節にあった句を詠んでみえます。

## 【紹介】 花無山句会（月2回実施）

昭和十四年ころ「豆の花句会」が発足し、活動を始めました。これが、「花無山句会」の前身です。  
また、戦時下の厳しい社会情勢の中でも文化活動として句会が続けられてきました。

昭和五十八年には宗久寺境内に合同句碑「只管花鳥巡礼」が建立されました。平成初年ごろから公民館講座から自立して、以後、生涯学習団体「花無山句会」として、月二回の句会を続けてきました。

そして、昭和四十八年東野公民館教養講座として俳句科が開設されました。講師に鈴木抱風子（鈴木弘道）さんを迎え、西行伝説にちなみ「花無山俳句会」として活動が続けられました。

昭和十四年ころ「豆の花句会」が発足し、活動を始めました。これが、「花無山句会」の前身です。  
また、戦時下の厳しい社会情勢の中でも文化活動として句会が続けられてきました。

会場は、東野コミュニティセンターです。



只管花鳥巡礼（宗久寺）

(代表者 千藤恵三さん 談)  
平成17年、鈴木先生亡きあとは指導者のないまま続けてきました。「みんなが先生、みんなが生徒」です。年々会員の高齢化が進み、新しい加入者もなく、先は不透明です。「豆の花」で蒔かれた種が消えていくのは残念です。



山河あり（向島阿弥陀ヶ根麓）

花無山句会以外にもスポーツ吹き矢、スキップ、太極拳こぶし会等、10を超える団体がコミセンを利用して活動してみえます。ぜひ、趣味の会や会議等、お気軽にご利用ください。



## コミュニティセンターでの感染対策

東野コミュニティセンターを利用される時も感染予防を徹底してください。

(入館時) 検温、消毒（玄関に検温と消毒の機器があります）

マスク着用（ご自身で準備してください）の徹底

(館 内) 距離の確保、換気、大声等に気を付けてください。

（館内の感染防止の指針に従ってください。）

感染状況によっては施設の利用を制限することがあります。

☆どの色に  
しようかな…



☆立派な手形だね



☆みんな揃って  
♡はいポーズ



## 発 行

そこで、小さなことでも結構ですので、皆さんの身近に話題がありましたらぜひコニティセンターまでお知らせください。

本号の「魚供養碑」の記事は、東鈎会代表者の伊藤夫さんの情報で記事にすることができました。ありがとうございました。

## 乳幼児学級すくすくクラブ

今年度の乳幼児学級「東野すくすくクラブ」は5月から始まっています。

次回6/24（木）は、「子づれ防災」を予定しています。

また、未就園児のお子さんの募集を随時行っていますので、お気軽にお声がけ下さい。

### ★令和2年度、活動の様子

3/25（木）一年間の記念に手形・足形をとりました。

一生に一度の成長記録となりました。



### \*\*\*こんな本入りました\*\*\*

#### 「とびだすこうじげんば」

ページをめくるたびに、おやこの歓声が聞こえてきそう！いちど手に取ってみてください



今季のテーマは…「断捨離・料理」

新生活を始めるにあたって、参考にしてみてください



○東野コニティセンター 熱長 三宅 勝義

（恵那市教育委員会より）

四月より東野振興事務所で勤めさせていただくことになりました。皆様のお力を借りしながら頑張りたいと思います。よろしく指導くださいますようお願いいたします。

この四月より東野コニティセンターでお世話になっております。着任してまだ日も浅いですが、多くの方々にお会いしました。昔から地域でお見掛けする顔も多く、とても懐かしく身近に感じています。ぜひ、これからも気軽に立ち寄りください、声をかけていただければ嬉しいです。よろしくお願ひします。

### 編集後記

新型コロナウィルスの感染拡大のため、各種イベントが縮小され、広報の記事のネタにも困るようになってしましました。今回は年度当初の発刊ということもあり、各種団体の総会がありましたので、何とか紙面も埋まり、皆さんに発信できることができましたが、これからは、ますます記事が多くなってきそうで心配をしているところです。

## 転入職員紹介 よろしくお願いします

○東野振興事務所

（元気ブリザより）  
所長 柿澤 史枝

東野コニティセンター 6-26-1-555  
東野地域自治区運営協議会 6-26-1-344